

第 98 回大腸癌研究会

遺伝性大腸癌診療ガイドライン作成委員会 議事録

- 日時: 令和 5 年 1 月 26 日 (木) 13:30～14:00
- 場所: 浜松町コンベンションホール 5F 大ホール B
- 出席者 (五十音順、敬称略、* Web 参加):

〔委員長〕 田中屋宏爾

〔委員〕 秋山泰樹*、石丸 啓*、岡本耕一、川崎優子*、隈元謙介、重安邦俊*、下平秀樹*、関根茂樹、高雄暁成*、高雄美里、高見澤康之、竹内洋司*、田中屋宏爾、谷口文崇*、千野晶子、張 萌琳*、土井 悟*、中島 健*、中守咲子*、中山佳子*、長壽寿矢*、檜井孝夫、平田敬治*、藤吉健司、堀松高博*、三口真司、水内祐介、宮倉安幸、山田真善、吉岡貴裕、山口達郎

〔同伴者、オブザーバー他〕 奥川喜永、門松雄一郎 (順天堂)、小森康司、佐々木和人、鈴木陽三、須並英二、高橋佑典、富田尚裕、野上 仁 (新潟がんセンター)

欠席委員: 小峰啓吾、坂元 慧、柴田良子、嶋本有策、田辺記子、蓮見壽史、阪埜浩司、増田健太、武藤倫弘

● 報告・審議事項

1. 委員会活動の概要

資料 1 p3

ガイドラインの目的・使用法

チーム編成

患者会参画

文献の掲載方法

患者会アンケート集計

田中屋委員長より、委員会活動の概要と患者会アンケートで寄せられた意見の報告があった。

2. 編集方針について

資料 2 p4

作成法

総論

文献検索法・システマティックレビュー

各論 I 遺伝性大腸癌の概要

編集責任者である山口委員より、編集方針についての解説と、各論 I の本文に関する進捗状況の報告があった。

3. 各論Ⅱ 家族性大腸腺腫症 進捗状況

資料 2 p4

本文・CQ

4. 各論Ⅲ Lynch 症候群 進捗状況

資料 2 p6

本文・CQ

FAP 責任者の平田委員、リンチ症候群責任者の山田委員から、いずれも臨床的 クエスチョンに関するシステマティック レビューは、概ね終了しているとの報告があった。

2023 年 1 月末を目標に推奨文と解説文を作成することとなった。

また、各論Ⅱ・Ⅲの教科書的な内容についても、担当者の過半数から初稿を提出いただいたとの報告があった。

5. 今後のスケジュール

田中屋委員長から、今後のスケジュールについて報告があった。2023 年 7 月の大腸癌研究会で公聴会を開催できるよう準備を進めていくこととなった。

文責: 田中屋宏爾

資料 1

1. 目的・使用法

一般診療の中で大腸癌を扱っている医療従事者が、日常診療で遭遇した場合の適切な対処法を記載

2. チーム編成

大腸癌研究会・日本遺伝性腫瘍学会・患者会

3. 基本的な方向性

- 2020 年版の基本コンセプトを継承(FAP・Lynch 症候群の 2 疾患を中心)
- Minds 診療ガイドライン作成マニュアル 2020 ver. 3.0 にある程度準拠
- サーベイランスや治療の個別化
- FAP 患者に対する「消化管ポリポース加算」などの診療報酬改定を反映

4. 文献の掲載方法

巻末にまとめて通し番号で掲載していた文献を小単位(各章など)ごとに掲載する形式に変更することを検討。

5. 患者会アンケートで寄せられた意見の例

- ①サーベイランスの開始年齢と共に、終了年齢を知りたい。
- ②大腸内視鏡サーベイランスは、施設によって 1 年毎ないし 2 年毎を推奨されるが、どう違うのか知りたい。
- ③子供への説明をどうしたら良いのか教えて欲しい。
- ④大腸内視鏡を苦痛なく受けることができるようにしてほしい。

資料2 2024 年版の構成（CQ を除く）

各論

I. 遺伝性大腸癌の概要

I-1 基本的事項

I-2 診断

I-2-1 診断の流れ

I-2-2 遺伝学的検査

I-3 遺伝カウンセリング

II. 家族性大腸腺腫症

II-1 概要

II-1-1 臨床的特徴

原因遺伝子・遺伝形式

関連腫瘍

II-1-2 疫学的特徴

II-2 診断

II-2-1 診断の流れ

II-2-2 鑑別を要する疾患・病態

APC-associated polyposis

GAPPS

MUTYH-associated polyposis

MLH3-associated polyposis

NTHL1-associated polyposis

II-3 サーベイランスと治療

II-3-1 大腸腺腫・癌

II-3-1-1 特徴・分類

InSiGHT 分類

II-3-1-2 サーベイランス

化学予防

II-3-1-3 治療

intensive downstaging polypectomy (IDP)

IRA / IPAA / TPC

腹腔鏡手術

一時的人工肛門

II-3-1-4 術後サーベイランス

II-3-2 胃底腺ポリポース・胃腺腫

II-3-2-1 特徴・分類

II-3-2-2 サーベイランス

FGPs から GC の発生

II-3-2-3 治療

II-3-2-4 術後サーベイランス

II-3-3 十二指腸腺腫・癌

II-3-3-1 特徴・分類

Spigelman 分類

II-3-3-2 サーベイランス

II-3-3-3 治療

PD / PPPD / 膵温存手術(PSD)

II-3-3-4 術後サーベイランス(必要に応じて)

II-3-4 デスモイド腫瘍

II-3-4-1 特徴・分類

Church 分類

II-3-4-2 サーベイランス

II-3-4-3 治療

手術

薬物療法

II-3-4-4 術後サーベイランス(必要に応じて)

II-3-5 その他の随伴病変

小腸腫瘍(カプセル内視鏡検査)

副腎腫瘍

肝芽腫

甲状腺癌

II-4 家族(血縁者)への対応

II-4-1 血縁者への対応

II-4-2 小児慢性特定疾病

III.Lynch 症候群

III-1 概要

III-1-1 臨床的特徴

原因遺伝子・遺伝形式

関連腫瘍

III-1-2 疫学的特徴

III-2 診断

III-2-1 診断の流れ

Universal tumor screening(UTS)

III-2-2 鑑別を要する疾患・病態

Sporadic MSI 大腸癌

Lynch-like 症候群

CMMRD

III-3 サーマイランスと治療

III-3-1 大腸腺腫・癌

III-3-1-1 特徴・分類

III-3-1-2 サーマイランス

化学予防

生活習慣の改善

III-3-1-3 治療

拡大手術(大腸全摘術)

術後補助療法

免疫チェックポイント阻害薬

III-3-1-4 術後サーマイランス

III-3-2 婦人科腫瘍

III-3-2-1 特徴・分類

III-3-2-2 サーマイランス

III-3-2-3 治療

III-3-2-4 術後サーマイランス(必要に応じて)

III-3-3 泌尿器科腫瘍

III-3-3-1 特徴・分類

III-3-3-2 サーマイランス

III-3-3-3 治療

III-3-3-4 術後サーマイランス(必要に応じて)

III-3-4 上部消化管腫瘍

III-3-4-1 特徴・分類

III-3-4-2 サーベイランス

III-3-4-3 治療

内視鏡治療

薬物療法

III-3-4-4 術後サーベイランス(必要に応じて)

III-3-5 その他の随伴病変

III-4 家族(血縁者)への対応

III-4-1 遺伝学的診断例

III-4-2 VUS 例

III-4-3 遺伝学的未確定